

電動昇降座いす
独立宣言[®]

リクライニング

品番：DSREC
取扱説明書

保証書つき

保管用







- 本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は大切に保管し、必要なときお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

	<ul style="list-style-type: none">● 本製品は、体位を自力で保持できない方は標準仕様の状態でご使用にはなりません。必ず、オプション品のサイドガードを合わせてご使用ください。特に予測できない行動をする可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができないと思われる方のご使用には十分注意してください。 ご使用者の利用状況によって、アームレストと背もたれのすき間にはさまれ生命に関わる大きな事故につながる可能性があります。● 下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する (1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)お子様 事故や体調不良を起こすおそれがあります。● 周囲に人がいたり、物がある場所では十分に注意する 昇降時、背もたれ傾斜時、いすがまわりの人に当たってけがをさせたり、すわっている人がまわりの物に当たってけがをするおそれがあります。 特に下降時は、座板の下に何も無いことをご確認ください。● うしろのカベや物に注意する 背もたれ傾斜時、うしろのカベや物との間に十分なスペースを確保してください。いすがカベや物に当たり、破損・故障し、けがをするおそれがあります。● 使用時は、必ず脚を取り付ける 転倒し、けがをするおそれがあります。● 座部は確実に取り付いた状態で使用する 転倒し、けがをするおそれがあります。
 <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">● 不安定な場所で使用しない 転倒し、けがをするおそれがあります。● 踏み台にしたり、背もたれや肘掛けに座るなど、目的以外の使いかたをしない 足をすべらせたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。● 許容荷重(100kg)以上の体重の人は使用しない いすが破損・故障し、けがをするおそれがあります。● ひざに座らせたり等、ふたり以上で座らない 転倒したり、いすから落ちるなど、けがをするおそれがあります。● 座板下降時、座板の下に足などを入れない 座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。● 座板の端に座らない 座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。● ベッドや車いすなどから移乗するときは、背もたれを完全におこす いすが転倒し、けがをするおそれがあります。● いすに飛び乗ったり、故意に勢いをつけて座ったりしない いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。● お子様を本体の上で遊ばせたり、背もたれや肘掛けの上に乗ったり座ったりさせない いすから落ちたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。● リクライニング・チルト(人が座っていない)の状態、後方から移動用ハンドルや背もたれ上部に寄りかからない いすが転倒し、けがをするおそれがあります。● いすを持ち上げて運ぶ際は、2人以上で行い、必要以上の衝撃を与えない いすが破損し、故障の原因となります。● 座部を持ち上げて、運ばない ロックピンが外れ、いすが落下し、破損やけがをするおそれがあります。
 <p>分解禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">● 分解・修理・改造は絶対にしない 発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。
 <p>指に注意</p>	<ul style="list-style-type: none">● 作動時や移動時、隙間(特に背もたれと本体の隙間)に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。● 肘掛けの折り曲げ時や、座部の取り付け・取り外し時に、可動部分に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

	警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
	注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

	気をつけていただきたい「注意喚起」内容を説明しています。		してはいけない「禁止」内容を説明しています。		必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。
--	------------------------------	--	------------------------	--	---------------------------

注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●屋外や高温・多湿な場所で使用・保管しない 感電および故障の原因になります。 ●火気を近づけない 発火のおそれがあります。 ●人が座ったままいすを移動させない 転倒・衝突などにより、けがをするおそれがあります。 ●交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。 ●2分以上の連続運転はしない 故障の原因になります。 連続運転が2分以上におよんだ時は、18分以上休止させてください。 ●電源プラグ・コネクタにゴミ・水分を付着させない 感電やショート、発火のおそれがあります。 ●中継プラグにゴミ・水分を付着させない ショートや異常動作のおそれがあります。 ●スイッチに水分を付着させない ショートや異常動作のおそれがあります。 ●電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない 火災や感電の原因になります。 ●スイッチケースに無理な力を加えない 破損し、故障の原因となります。 ●コードを無理に引っ張らない 破損し、故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグ・コネクタは、確実に最後まで差し込む ショートや発火のおそれがあります。 ●濡れた手で電源プラグを持たない 感電のおそれがあります。 ●濡れた手で中継プラグを持たない ショートや異常動作のおそれがあります。 ●濡れた手でスイッチにさわらない ショートや異常動作のおそれがあります。
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ●動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグをコンセントから抜く 感電や発火のおそれがあります。 ただちに点検修理を依頼してください。 ●お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電ややけどのおそれがあります。 ●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。 ●電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜く 感電やショート、発火のおそれがあります。

保証書

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがって、正常な使用状態で、故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形式	DSREC	製造番号	お買い上げ日	年 月 日	本体保証期間：1年
お客様	ご住所 お名前 お電話				
販売店	住 所 店 名 電 話				

1. 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。

- 使用上の誤り、または、改造や不当な修理による故障または、損傷。
- お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または、損傷。
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障または、損傷。
- 業務用に使用されて生じた故障または、損傷。
- 本書のご提示がない場合。
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは、字句を書き換えられた場合。
- プラスチックの表面、座板・背もたれの布地、および肘掛けの摩耗や打痕による損傷。

2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

3. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

修理を依頼されるとき

サービスをご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度ご点検の上、なお異常がある場合はお買い上げの販売店へご依頼ください。

● 保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をご提示のうえ、ご相談ください。保証書の内容により販売店が修理をさせていただきます。その他、詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

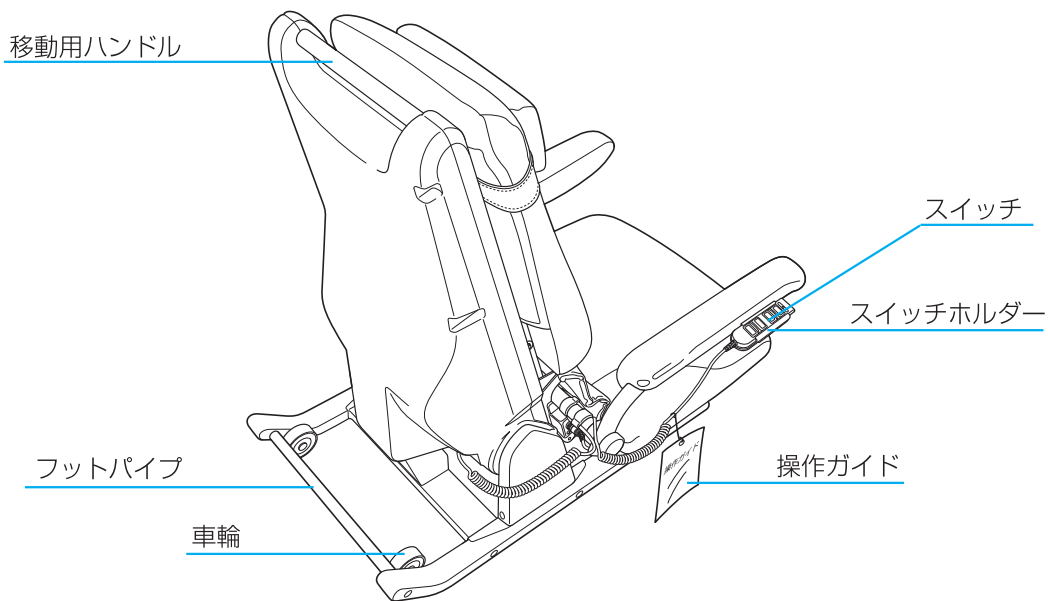
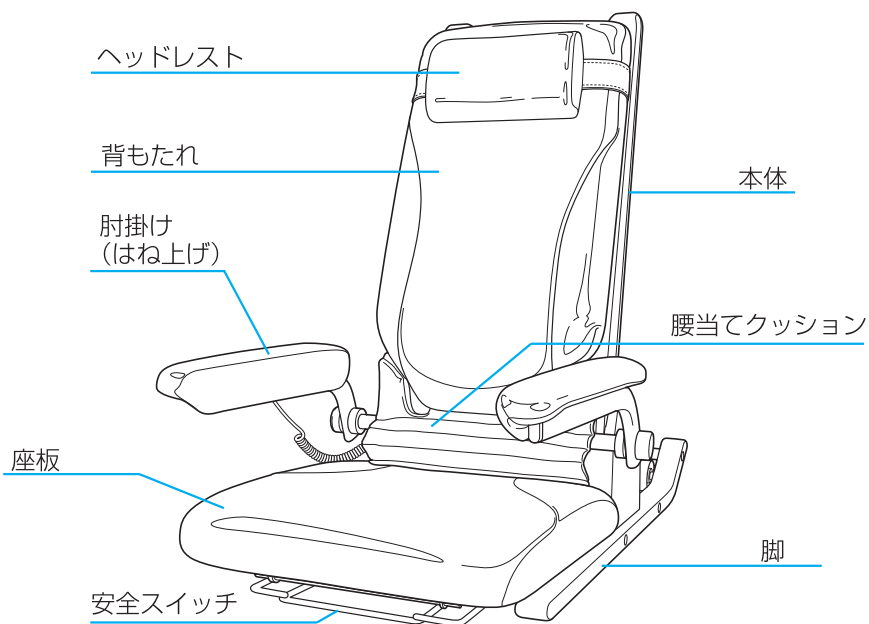
アフターサービスについてご不明な点は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製造元 **株式会社 コムラ製作所**

〒581-0035 大阪府八尾市西弓削3-9
TEL (072)949-0011

各部のなまえ



仕様

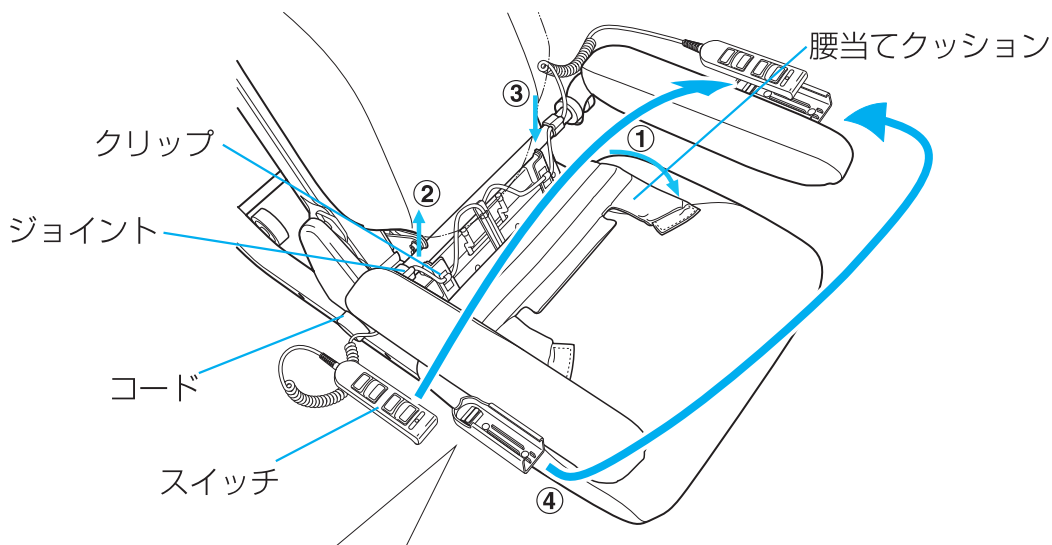
サイズ	660(幅)×1015(奥行)×955(高さ)mm
重量	45kg
最大許容荷重	100kg
最大ストローク	415mm(座面高さ 160~575mm)
背もたれ移動量	30° (15~45°)
入力電圧	AC100V 50/60Hz(コード長2.6m)
昇降速度	16mm/sec (電動上下昇降)
定格消費電力	70W
ヒューズ	125V 7A
定格時間	2分

品質表示

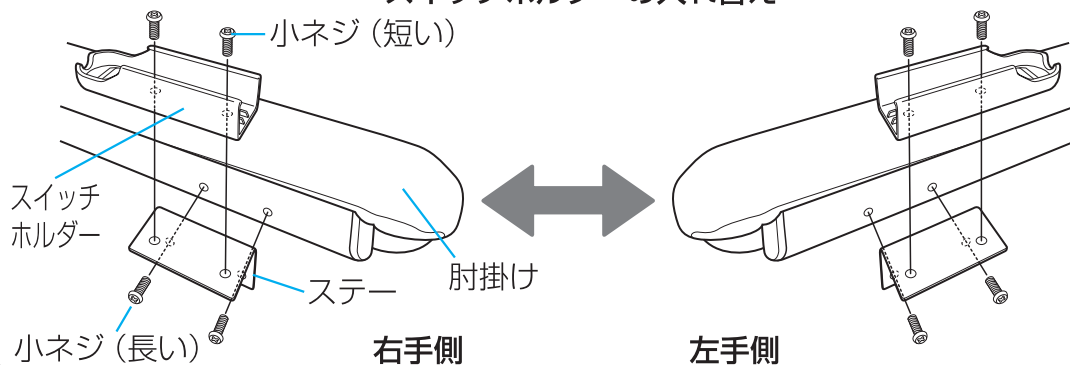
構造部材	機構部：金属(鋼・アルミニウム合金) 背もたれ部：合板 肘掛け部：合板 座部：合板 脚部：金属(鋼) カバー：ABS樹脂
表面加工	金属部：メラミン樹脂塗装 アクリル樹脂塗装
張り材	ポリ塩化ビニル
クッション材	ウレタンフォーム

スイッチの入れ替え

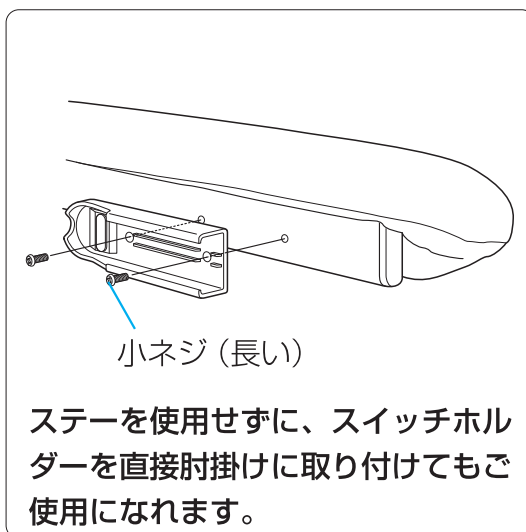
スイッチは、必要に応じて、左手側に取り付けることができます。



スイッチホルダーの入れ替え



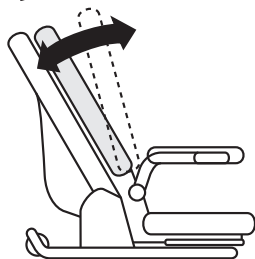
- ①腰当てクッションをめくります。
背もたれ下部に取り付いている面ファスナーを外します (3か所)。
- ②スイッチのコードをジョイントとクリップから外します。
- ③コードを反対側のクリップに差し込み、②で取り外したジョイントにコードをはめ込み反対側のパイプへ取り付けます。
- ④スイッチホルダーをステアに固定している小ネジ (短い) を外し、反対に取り付けます。さらに、ステアを肘掛けに固定している小ネジ (長い) を外し、反対側に取り付けます。



リクライニングとチルトについて

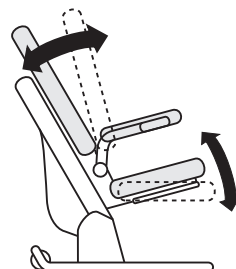
本製品はリクライニングとチルトの二つの機能があります。

リクライニング



背もたれがかたむきます。

チルト



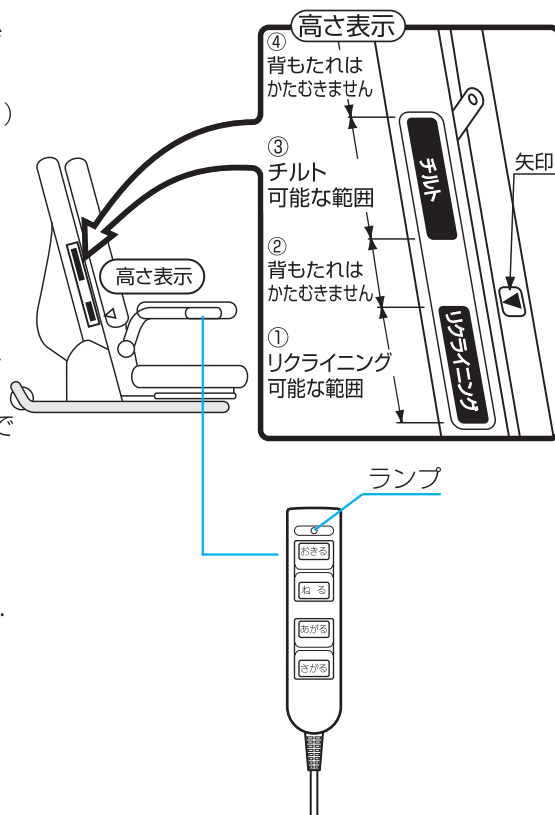
背もたれと座板が一緒にかたむきます。

- リクライニングまたはチルトできる高さは、それぞれ決まっています。
(高さの目安として本体右手側に高さ表示があります。)

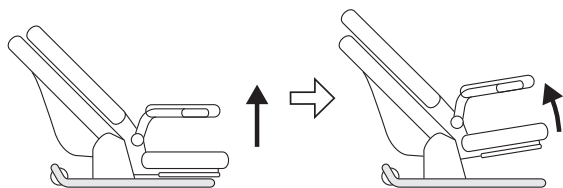
- リクライニング可能な範囲 (右図①) とチルト可能な範囲 (右図③) では、スイッチのランプが点灯して、お知らせします。

- リクライニング・チルト可能な範囲内では、背もたれがかたむいた状態でも座板の上下動が可能です。
(リクライニング・チルト可能な範囲の上端・下端で自動的に止まります。)

※全ての高さに上下動させる場合は、背もたれを完全におこしてください。
(背もたれがかたむいた状態では、リクライニング・チルト可能な範囲内しか上下動させることができません。)



リクライニングしている時に上下動させると座板が少し傾きます



- こたつに入るなど、座板をより低い位置でご使用になる場合以外は、リクライニングしたまま「あがる」ボタンを押し、座板を上昇させるとより楽な姿勢がとれます。

使いかた

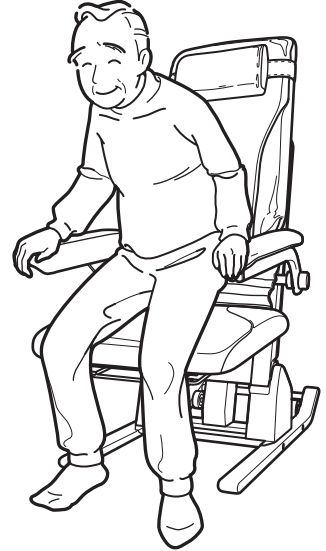
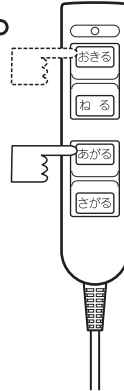
電源コードを接続する。

- 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。

座る

1 あがる ボタンを押す。

- スイッチの「あがる」ボタンを押し続け、座板を座りやすい位置まで上げておきます。
※背もたれがかたむいていると途中で止まる場合があります。
「おきる」ボタンを押して背もたれを完全におこしてください。



2 腰をおろす。

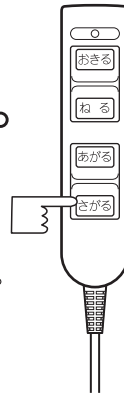
- 肘掛けに手をそえて静かに腰をおろします。
- 足腰に負担をかけることなく座板に腰をおろすことができます。



- 座板の端に座らない
座板からすべり落ちたり転倒して、けがををするおそれがあります。

3 さがる ボタンを押す。

- スイッチの「さがる」ボタンを押し続け、(指を離せば止まります) 座板をお好みの高さまで、おろしてください。
- 座板は床面まで下がると自動的に止まります。



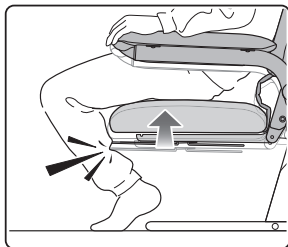
- 座板下降時、座板の下に足などを入れない
座板と脚や床の間にはさまれて、けがををするおそれがあります。

はさみ込み防止機構「はさまナイザー」について

下降時（「さがる」ボタンを押している時）に、座板の下に足や物がはさまれると、安全スイッチが働きます。

この時、座板は自動的に少し上昇して止まります。

(リクライニングまたはチルトした状態で、「おきる」ボタンを押した時には、この機能は働きません。)



従来の安全装置との違い

従来の安全装置は、下降する際（「さがる」ボタンを押している時）に、座板の下に足や物がはさまれると、安全スイッチが働き、座板の下降が停止する機構でした。この場合、はさまった足や物を解放する場合は、上昇（「あがる」ボタンを押す）させる必要がありました。

新機構「はさまナイザー」の最大の特徴は、下降が停止した際、自動的に座板が少し上昇し、はさまった足や物が瞬時に解放される機構です。

従来の機構では、介助される方が操作される場合に、はさみ込みに気付かず放置される危険性がありましたが、このたび、さらに安全性を追求し、この新機構「はさまナイザー」を考案し、この「独立宣言リクライニング」より新たに採用しました。

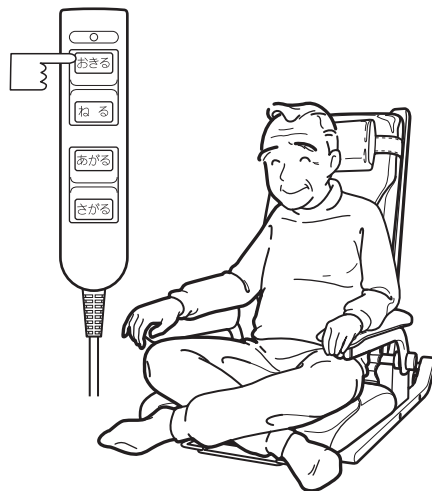
使いかた

立つ

1

背もたれをおこす。

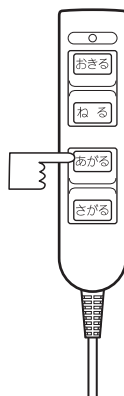
- スイッチの「おきる」ボタンを押し続け、背もたれを完全におこします。



2

座板を上昇させる。

- スイッチの「あがる」ボタンを押し続け、座板を立ちやすい位置まで上げます。



3

腰を上げる。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰を上げます。



警告

- 本製品は、体位を自力で保持できない方は標準仕様の状態でご使用にはなりません。必ず、オプション品のサイドガードを合わせてご使用ください。特に予測できない行動をする可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができないと思われる方のご使用には十分注意してください。ご使用者の利用状況によって、アームレストと背もたれのすき間にはさまれ生命に関わる大きな事故につながる可能性があります。
- 下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する
(1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)お子様 事故や体調不良を起こすおそれがあります。

使いかた

ね る

1

高さをあわせる。

- あがる** **さがる** ボタンを押して、リクライニングまたはチルト可能な範囲に高さを調節します。
(7ページご参照)



2

背もたれをねかす。

- ねる** ボタンを押し続け、お好みの角度まで背もたれをねかします。

おきる

1

背もたれをおこす。

- おきる** ボタンを押し続け、背もたれをおこします。

※立つ時など、高さを自由に上下させる場合は、**おきる** ボタンを押し続け、背もたれを完全におこしてください。

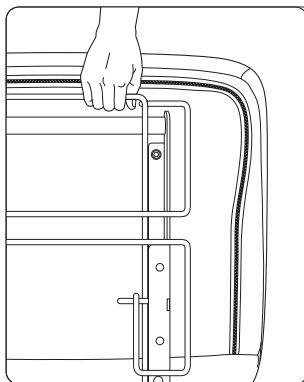
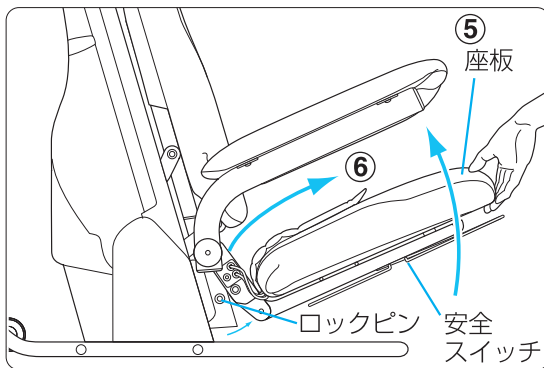
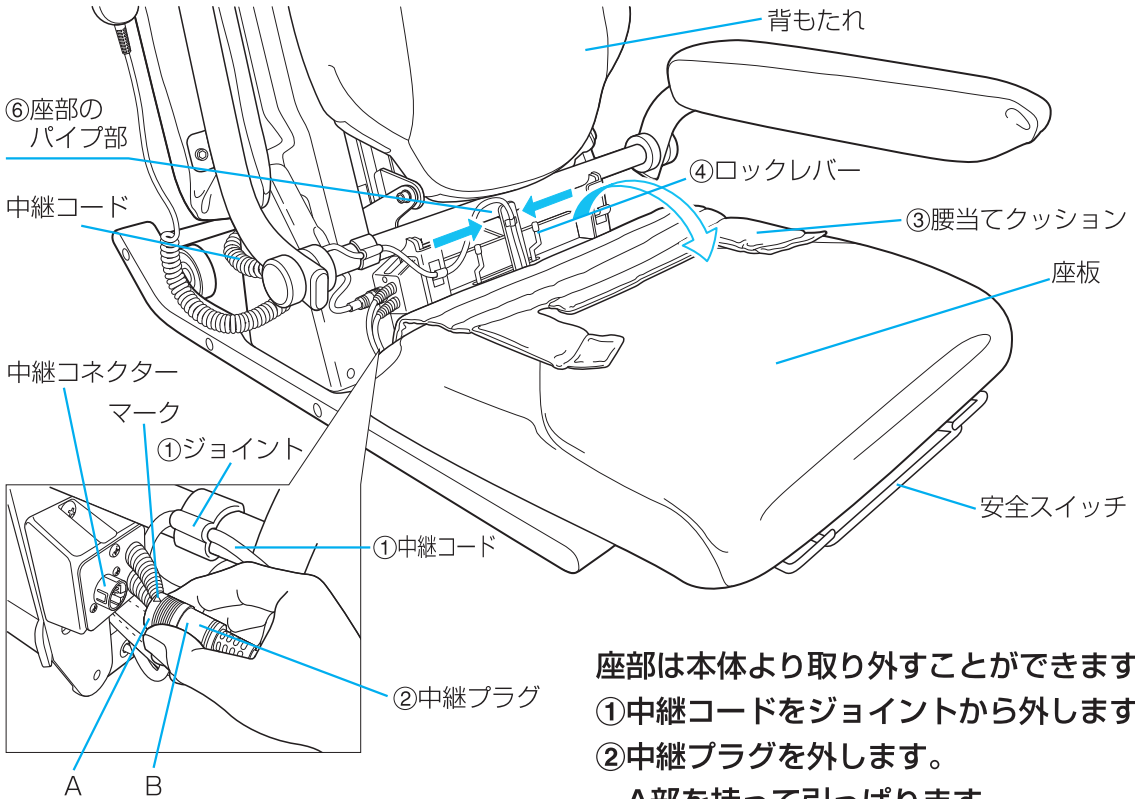
座板裏の安全スイッチが働いていると

さがる **おきる** ボタンが使えません

座板の下にはさみ込まれている物を取り除いてください。



座部の取り付け・取り外し



お願い

座部の取り付け・取り外しのときに安全スイッチ用のバーを絶対に持たないでください。バーが変形し、はさまれ防止の安全機構が動かなくなる可能性があります。けがをするおそれがあります。

座部は本体より取り外すことができます。

①中継コードをジョイントから外します。

②中継プラグを外します。

A部を持って引っばります。

(コードなどA部以外を持って引っばると、故障の原因となります。)

③腰当てクッションをめくります。

背もたれ下部に取り付いている面ファスナーを外します(3か所)。

④ロックレバーを握ります。

(左右のロックピンが内側に外れます。)

⑤そのまま座板を持ち上げます。

(この時、安全スイッチに無理な力を加えないでください。)

⑥座部のパイプ部を本体より外します。

※座部の本体への取り付けは反対の手順で行います。この時、②中継プラグのマーク(▽)を真上に合わせ、B部を持って最後まで差し込んでください。(A部を持って、差し込むことはできません。)

こんなときは…

動かない

- 電源プラグが抜けていませんか？ ●コネクターが抜けていませんか？
- 中継プラグが抜けていませんか？

座板が上下の途中で止まる

- 背もたれがかたむいていませんか？
→**〔おきる〕**ボタンを押し続け、背もたれを完全におこしてください。
- 下降しない 座板裏の安全スイッチが働いていませんか？
→座板の下に足や物などを入れないでください。

背もたれがかたむかない

- リクライニング・チルト可能な範囲を外れていませんか？
→**〔あがる〕** **〔さがる〕**ボタンを押して、高さを調節してください。(7ページご参照)

背もたれがおきない

- 座板裏の安全スイッチが働いていませんか？
→座板の下に足や物などを入れないでください。

点検後、なお異常があったら

ただちに使用を中止し、事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

座板の動く速さが遅いとき

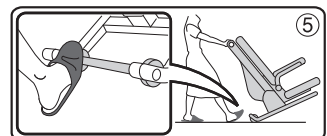
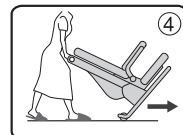
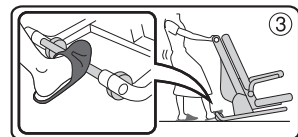
- 周囲温度が低いときに使用した場合、座板の動く速さが遅くなることがありますが故障ではありません。座板に座らない状態で、1往復ほど昇降させれば、通常のスピードに戻ります。

お手入れのしかた

- 水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。
- ベンジン・シンナー・ワックス・化学ぞうきんなどで拭いたり、たわしでこすったりしないでください。
- お茶やコーヒーなどをこぼしたときは、乾かないうちによく拭きとってください。

移動するとき

- ①リクライニングまたはチルトしている時は、背もたれをおこしてください。
- ②電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③移動用ハンドルを両手で持ち、フットパイプに足を掛けて、いすを手前にかたむけてください。
- ④車輪が床に接地したことを確認し、いすを前に移動させてください。
- ⑤フットパイプに足を掛けながら、ゆっくりいすをおろしてください。



いすをかたむける、または床におろす時は、フットパイプに**“しっかり”**足を掛ける。足やものはさまされてけがをしたり破損するおそれがあります。